

令和3年度宮崎県献血推進協議会

会 議 資 料

宮崎県福祉保健部
医療薬務課薬務対策室

宮崎県献血推進協議会委員名簿

委員区分	所属団体及び機関名	氏名
会長	宮崎県福祉保健部	重黒木 清
医療関係団体 及び 医療機関	公益社団法人宮崎県医師会	峰 松 俊 夫
	一般社団法人宮崎県歯科医師会	江 藤 ゆかり
	一般社団法人宮崎県薬剤師会	岩 崎 恭 子
	宮崎大学医学部附属病院	久富木 庸 子
	公益社団法人宮崎県看護協会	久 保 敦 子
日本赤十字社 及び その関係団体	日本赤十字社宮崎県支部	渡 邊 浩 司
	宮崎県赤十字血液センター	北 折 健次郎
	赤十字奉仕団宮崎県支部委員会	後 藤 ツ ヤ
ボランティア活動団 体	ライオンズクラブ国際協会 337-B 地区	佐々木 直 哉
	宮崎県学生献血推進協議会	後 藤 佐和子
労働組合	宮崎県労組会議	津久江 清 一
教育関係団体 及び 教育機関	宮崎県県立学校長協会	西國原 総 子
	公益財団法人宮崎県私学振興会	佐 藤 和 秀
	学校法人順正学園 九州保健福祉大学	松 田 智香子
婦人及び青年団体	宮崎県地域婦人連絡協議会	椎 井 美智子
報道機関	株式会社宮崎日日新聞社	永 峰 寛 子
幹事	宮崎県福祉保健部医療薬務課薬務対策室	林 隆一朗
	宮崎県赤十字血液センター	大 西 公 人

(任期：令和3年8月1日から令和5年7月31日まで)

第 1 令和 3 年度献血事業推進状況

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和 31 年法律第 160 号)の趣旨を踏まえ、年間を通じ、血液を過不足なく供給するため、市町村、日本赤十字社宮崎県支部及び宮崎県赤十字血液センターと一体となって、献血を推進するとともに、献血運動の普及を図るため各種事業を実施した。

1 献血の状況

(1) 献血者数

令和 3 年度の献血者見込み数は 42,804 人であり、本年度献血目標 43,480 人に対する達成率は 98.4%となる。

献血者数

	全血献血		成分献血		計
	200mL 献血	400mL 献血	血小板	血漿	
目標 (人)	131	29,867	4,020	9,462	43,480
見込み (人)	111	29,387	4,048	9,258	42,804
達成率 (%)	84.7	98.4	100.7	97.8	98.4

(2) 受入施設別献血者数

献血ルーム「カリーノ」及び移動献血車(バス)の献血者見込み数は次のとおりである。

受入施設別献血者数

		全血献血		成分献血		計
		200mL 献血	400mL 献血	血小板	血漿	
献血ルーム 「カリーノ」	目標 (人)	131	5,082	4,020	9,462	18,695
	見込み (人)	97	5,515	4,048	9,258	18,918
	達成率 (%)	74.0	108.5	100.7	97.8	101.2
移動献血車	目標 (人)	-	24,785	-	-	24,785
	見込み (人)	14	23,872	-	-	23,886
	達成率 (%)	-	96.3	-	-	96.4

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響及び対応等

○令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大により、従来献血バスを派遣していたイベントの中止や、企業のテレワーク推進、大学の休校等された影響で、一部の献血バスの派遣が延期、キャンセルとなった。

○バス配車が延期、キャンセルとなった場合は、大型ショッピングモールや官公庁舎等へ振替えることにより配車数を確保しているものの、バス1台あたりの採血者数は計画を下回っている。

・バス配車数 実績 377台 (計画 371台) (令和3年4～12月)

・バス1台あたりの採血者数 実績 46.9人 (計画 50.1人) (令和3年4～12月)

○献血者数が落ち込んだ時等は血液センターよりプレスリリースを行った。プレスリリースによりニュース等で報道があった後は、献血者数が増加したが、年間を通して献血者の確保状況は不安定となっている。

○県政番組による献血協力の呼びかけを行った。

・UMK「みやざきゲンキTV」(令和4年1月9日)

・MRTラジオ「おはよう県庁です」(令和3年7月16日、令和4年1月18日)

2 血液製剤の供給状況等

(1) 輸血用血液製剤

医療機関の需要に応じ供給する赤血球製剤等の輸血用血液製剤は 145,073 単位となる見込みである。

輸血用血液製剤の供給量

	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
計画（単位）	54,100	16,540	73,400	144,040
見込み（単位）	55,254	15,654	74,165	145,073
計画比（%）	102.1	94.6	101.0	100.7

※「1単位」とは、200mL 全血採血に相当する量

(2) 原料血漿の確保量

アルブミン製剤等の血漿分画製剤の原料となる原料血漿の確保量は九州ブロック全体で 147,528L となる見込みである。

原料血漿の確保量

	原料血漿量
確保目標量（L）	145,638
確保見込み（L）	147,528
達成率（%）	101.3

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響及び対応等

○5・9・12月に、需要の減少はあったが一時的なものであり、令和3年度の赤血球の供給は計画を上回る見込みである。

○赤血球製剤の在庫は、九州ブロック全体での調整により、適正在庫量を確保できている。

3 献血推進事業実施状況

献血事業を推進するため、「みやざき愛の献血運動」を核として、次の事業を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で、一部の事業は中止または規模縮小しての実施とした。

(1) 広報啓発活動・献血運動推進大会等

実施事業名	事業内容
400mL 献血・成分献血の推進	【実施時期】 通年 ○年間を通し、400mL 献血及び成分献血を推進 ○赤十字奉仕団による献血啓発、献血の呼びかけ
献血協力者確保等推進事業	【実施時期】 通年 ○新聞紙上（宮崎日日新聞）に献血情報及び成分献血協力企業名等を掲載（年2回） ○年間複数回献血の推進、ラブラッド（複数回献血クラブ）の登録推進 ○献血サポーター事業の推進 ○若年層対策：献血についての知事メッセージ作成・配布 ○輸血用血液製剤の適正使用推進
町、総ぐるみ献血参加運動	【実施時期】 通年 ○献血者確保対策の一環として市町村単位で実施 献血実績（令和3年4月～12月） 実施数：7回 移動献血車 11台稼働 献血者：400mL 598人
高校での献血と触れ合う機会の推進	【実施時期】 通年 ○県立校長会、副校長・教頭会（書面）での協力依頼（令和3年5月、8月） ○高校生を対象とした献血セミナー 実施数及び対象者数（令和3年4月～12月） 10回 351人 ○高校献血 献血実績（令和3年4月～12月） 献血者：400mL 51人 （3校 3回）
「こいのぼり献血」キャンペーンイベント	【実施時期】 5月 ○宮崎県学生献血推進協議会会員による献血と交通安全の呼びかけとSNSによる情報発信 5/2 サピア日南ショッピングセンター 献血者：400mL 56人 5/5 ホームワイドプラス都城店 献血者：400mL 73人

実施事業名	事業内容
夏休み献血教室、サマースタディ	新型コロナウイルス感染症の影響で中止
愛の血液助け合い運動	<p>【実施時期】 令和3年7月1日～31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「献血でつなぐ 命のリレー」懸垂幕掲示（県庁） ○「県政けいじばん」による広告 ○宮崎県産業資源循環協会「愛の血液助け合い運動」PR車両出発式（7月1日） ○サマー献血 <p>宮崎県学生献血推進協議会会員による献血と交通安全の呼びかけとSNSによる情報発信</p> <p>7/22 イオン延岡店 献血者：400mL 52人</p> <p>7/23 パントリーけいすけ都農店 献血者：400mL 50人</p> <p>○中学生によるメッセージパネル募集、各市町村役場に掲示（宮崎市、都城市）</p>
『秋の「献血&交通安全」』 キャンペーンイベント	<p>【実施時期】 9月21日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県警察本部と日赤県支部、血液センターが合同イベントを実施し、交通安全と赤十字活動のPR、献血を実施 <p>場 所：アミュプラザみやざき 献血者：400mL 38人</p>
令和3年度みやざき 愛の献血運動推進 県民大会	<p>県民大会は中止。規模縮小し、表彰式のみを実施。</p> <p>【実施時期】 令和3年11月24日</p> <p>【場 所】 宮崎県庁5号館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○厚生労働大臣表彰、宮崎県知事感謝状、日本赤十字社有功章、日本赤十字社宮崎県支部長感謝状贈呈 ○参加者数：約50人
「クリスマス献血」 キャンペーン	<p>【実施時期】 12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宮崎県学生献血推進協議会会員による献血と交通安全の呼びかけとSNSによる情報発信 <p>12/2 宮崎サザンビューティ専門学校 献血者：400mL 37人</p> <p>12/5 ホームワイド財光寺店 献血者：400mL 62人</p> <p>12/7 宮崎大学 献血者：400mL 42人</p> <p>12/12 イオン延岡店 献血者：400mL 67人</p> <p>12/17 宮崎産業経営大学 献血者：400mL 64人</p>

	12/18 日南学園高等学校 献血者：400mL 11人 12/23 宮崎大学 献血者：400mL 32人
「はたちの献血」 キャンペーン	【実施時期】 令和4年1月1日～2月28日 ○「あなたの生きる力を誰かの生きる力に」懸垂幕掲示 ○「県政けいじばん」による広告 ○県政番組による広報 ○初詣献血（1月2日、3日） 宮崎神宮（宮崎市）、神柱宮（都城市） 献血者実績 400mL 208人

（2）会議・研修会の開催

会議・研修会名	事業内容
ライオンズクラブ 献血推進セミナー	新型コロナウイルス感染症の影響で中止
宮崎県・鹿児島県学生 献血推進協議会合同研 修会	新型コロナウイルス感染症の影響で中止
宮崎県輸血懇話会	【実施時期】 令和4年2月5日 【場所】 宮崎県赤十字血液センターよりオンライン配信
宮崎県合同輸血療法 委員会研修会	【実施時期】 令和4年2月5日 【場所】 宮崎県赤十字血液センターよりオンライン配信
令和3年度宮崎県 献血推進協議会	【実施時期】 令和4年2月（書面協議） ○令和3年度献血事業推進状況について ○令和4年度宮崎県献血推進計画(案)について
各保健所地区 献血推進連絡協議会	県内各保健所単位で実施（一部書面開催）予定

（3）血液検査成績通知サービスの実施

日本赤十字社では、生化学検査成績（7項目）及び血球計数検査成績（8項目）について、通知を希望された方への通知サービス（親展での郵送）を実施した。

なお、ラブラッド会員については、この血液検査成績をウェブ上で閲覧することが可能となっている。

第2 令和4年度宮崎県献血推進計画(案)

本計画は、平成15年7月30日に施行された「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(昭和31年法律第160号)(「以下「法」という。)第10条第5項の規定に基づき定める令和4年度の献血の推進に関する計画である。

本計画は、令和4年度に確保すべき献血者数及び血液量等の目標並びに目標を確保するために必要な措置に関する事項について定める。

1 令和4年度に確保すべき献血者数及び血液量等の目標

本県の輸血用血液製剤の需要見込み及び、国から割り当てられた原料血漿確保目標量等を考慮し、令和4年度に確保すべき血液製剤の供給、献血者数、血液量の目標を定める。

(1) 血液製剤の供給計画

ア 輸血用血液製剤

過去3年間と令和3年度の供給状況等を勘案し、令和4年度の輸血用血液製剤の供給を144,504単位とする。

輸血用血液製剤の供給計画及び実績(単位)

		赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
令和4年度	計画	55,950	15,804	72,750	144,504
令和3年度	見込み	55,296	15,654	73,515	144,465
	計画	54,100	16,540	73,400	144,040
令和2年度	実績	56,158	15,635	70,920	142,713
	計画	55,032	16,920	75,500	147,452

イ 原料血漿確保量

アルブミン製剤等の血漿分画製剤の原料となる原料血漿確保量は、国から割り当てられた目標量を九州ブロックで147,861Lとする。

原料血漿確保目標量及び実績

		原料血漿(L)
令和4年度	目標量	147,861
令和3年度	見込み	147,528
	目標量	145,638
令和2年度	実績	147,455
	目標量	141,611

(2) 献血者の目標数

ア 献血者数

令和4年度の献血者の目標数は、43,236人とする。

献血者数の目標及び実績

		全血献血		成分献血		合計
		200mL献血	400mL献血	血小板	血漿	
令和4年度(人)	目標	141	29,400	4,256	9,439	43,236
令和3年度(人)	見込み	111	29,387	4,048	9,258	42,804
	目標	131	29,867	4,020	9,462	43,480
令和2年度(人)	実績	141	29,420	3,698	8,440	41,699
	目標	142	30,367	3,596	8,693	42,798

イ 受入施設別献血者数

受入施設別献血者数の目標及び実績

		献血ルーム 「カリーノ」	移動献血車※	合計
令和4年度(人)	目標	19,956	23,280	43,236
令和3年度(人)	見込み	18,918	23,886	42,804
	目標	18,695	24,785	43,480
令和2年度(人)	実績	18,073	23,626	41,699
	目標	17,513	25,285	42,798

※移動献血車(バス)による市町村別献血者数

移動献血車(バス)を円滑に受け入れるため、地域の実情に応じ、市町村ごとに市町村別献血計画を策定する(9ページ)。

(3) 血液の目標量

献血者から得られる血液の目標量は、全血献血により11,788L、成分献血により11,259L(血小板献血 2,336L、血漿献血 8,923L)の23,047Lとなる。

令和4年度血液の目標量(L)

全血献血		成分献血		合計
200mL	400mL	血小板	血漿	
28	11,760	2,336	8,923	23,047

令和4年度 宮崎県市町村月別配車計画(案)

保健所	市町村	目標数(人)				配車数(台)													稼働効率
		200mL	400mL	成分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
中央	宮崎市	0	7,180	0	7,180	17	14	12	9.5	12	11	12	12	12	14	7.5	10	143	50.2
	国富町	0	330	0	330		1	1	0.5			1			0.5	1.5	1	6.5	50.8
	綾町	0	170	0	170			1				1			0.5	1		3.5	48.6
	計	0	7,680	0	7,680	17	15	14	10	12	11	14	12	12	15	10	11	153	50.2
日南	日南市	0	970	0	970	2	2	2		2	3		3	2	1	1	0.5	18.5	52.4
	串間市	0	310	0	310		1		1	1			1			2	0.5	6.5	47.7
	計	0	1,280	0	1,280	2	3	2	1	3	3	0	4	2	1	3	1	25	51.2
都城	都城市	0	4,900	0	4,900	7	7	8	7	8	8	9	7.5	8	7.5	8	9	94	52.1
	三股町	0	280	0	280			1			1		1.5		0.5	1		5	56.0
	計	0	5,180	0	5,180	7	7	9	7	8	9	9	9	8	8	9	9	99	52.3
小林	小林市	0	1,000	0	1,000	1	2	2	2	2	2	1		3	2	1	2	20	50.0
	えびの市	0	510	0	510	2		1	1		1	1	1			2		10	51.0
	高原町	0	190	0	190		1			1			1			1		4	47.5
	計	0	1,700	0	1,700	3	3	3	3	3	3	2	2	4	2	4	2	34	50.0
高鍋	西都市	0	520	0	520			1	2.5	1			1	1	1.5	2	1	11	47.3
	高鍋町	0	580	0	580		1	1	2	1		3		1	1	1	1	12	48.3
	新富町	0	500	0	500		1		2.5		2		1		2.5		2	11	45.5
	西米良村	0	80	0	80							1					1	2	40.0
	木城町	0	85	0	85				1			1						2	42.5
	川南町	0	330	0	330				2	1			1	1	1		1	7	47.1
	都農町	0	140	0	140			1			1					1		3	46.7
	計	0	2,235	0	2,235	0	2	4	9	3	3	5	3	3	6	4	6	48	46.6
日向	日向市	0	1,435	0	1,435	3	2	1	3	3	2	2.5	2	4	1.5	3	1	28	51.3
	門川町	0	290	0	290		0.5	1	0.5		1	1				2		6	48.3
	諸塚村	0	60	0	60						1						1	2	30.0
	椎葉村	0	75	0	75						1						1	2	37.5
	美郷町	0	110	0	110				1				1				1	3	36.7
	計	0	1,970	0	1,970	3	2.5	2	4.5	3	5	3.5	3	4	1.5	5	4	41	48.0
延岡	延岡市	0	2,800	0	2,800	6	5	5	5	3	4	4	6	5	6	5	1	55	50.9
	計	0	2,800	0	2,800	6	5	5	5	3	4	4	6	5	6	5	1	55	50.9
高千穂	高千穂町	0	275	0	275		1			2					1		2	6	45.8
	日之影町	0	80	0	80					1							1	2	40.0
	五ヶ瀬町	0	80	0	80					1							1	2	40.0
	計	0	435	0	435	0	1	0	0	4	0	0	0	0	1	0	4	10	43.5
移動献血車計		0	23,280	0	23,280	38	38.5	39	39.5	39	38	37.5	39	38	40.5	40	38	465	50.1
献血ルーム		141	6,120	13,695	19,956	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	28	31	363	55.0
合計		141	29,400	13,695	43,236	68	70	69	71	70	68	69	69	68	71	68	69	828	

2 目標を確保するために必要な措置に関する事項

県は市町村、日本赤十字社宮崎県支部及び宮崎県赤十字血液センターと協力し、献血について県民の理解を深めるため、普及啓発活動及び献血運動推進県民大会の開催等の具体的な事業を実施する。

献血の推進に当たっては、学生献血推進協議会等と連携しながら若年層への理解と協力を求めるため、各般の事業を展開する。

また、当面の間は新型コロナウイルス感染症の影響があると思われるため、継続的な献血協力が得られるよう献血思想の普及を図る。

(1) 普及啓発活動の実施

ア	献血会場等における成分献血、400mL 献血の推進 ○赤十字奉仕団、学生献血推進協議会による呼びかけ
イ	町、総ぐるみ献血参加運動
ウ	複数回献血、成分献血確保対策 ○ラブラッド会員（複数回献血クラブ）登録促進 ○献血の情報及び成分献血協力企業名等を新聞に掲載
エ	高校での献血と触れ合う機会の推進 ○献血セミナーの実施 ○学校献血の実施
オ	全国統一キャンペーン ○こいのぼり献血（学生献血推進協議会） ○愛の血液助け合い運動 ○クリスマス献血（学生献血推進協議会） ○はたちの献血
カ	夏休み献血教室、献血ルーム親子見学会
キ	中学生用啓発ポスター、高校生啓発テキストの配布

(2) 献血運動推進県民大会の開催

令和4年度みやざき愛の献血運動推進県民大会の実施

(3) 献血体制の推進

ア	会議・研修会の開催 ○ライオンズクラブ献血推進セミナー ○宮崎県輸血懇話会 ○宮崎県合同輸血療法委員会研修会 ○令和4年度宮崎県献血推進協議会 ○各保健所献血推進連絡協議会
イ	血液検査成績通知サービスの実施